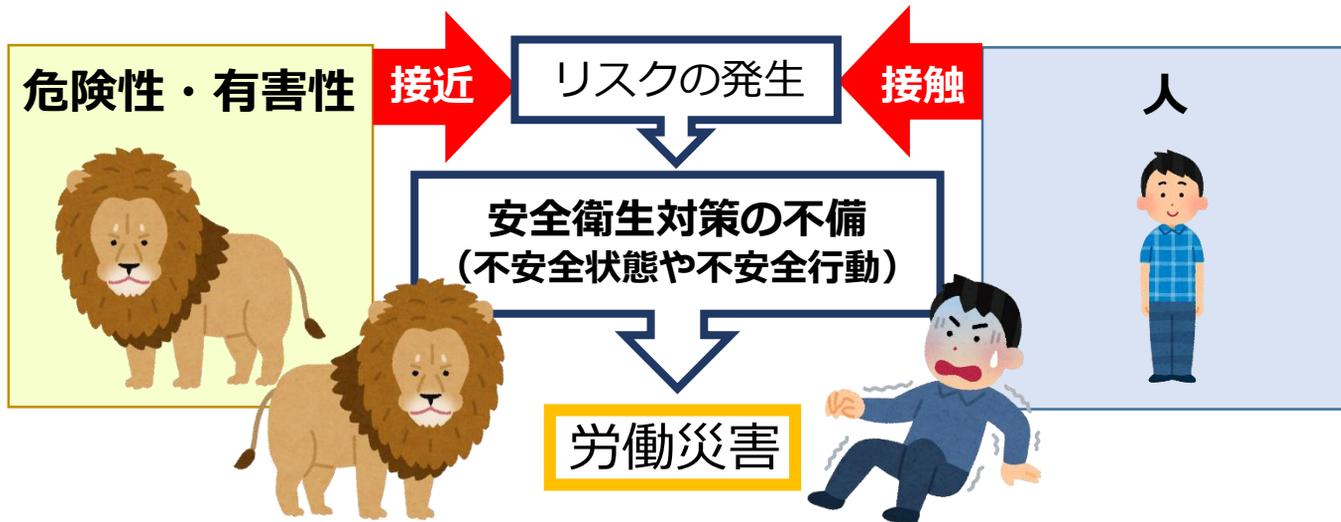


# リスクアセスメントに取り組みましょう！

## リスクアセスメントとは？

労働災害を未然に防ぐため、

- 1 作業場所での**危険性・有害性**を特定し、
- 2 労働災害の**リスク**（可能性・重さ）を見積り、
- 3 **対策**を検討するもの。



## 1 危険性・有害性の特定

過去の災害発生情報、ヒヤリハット、危険予知活動、安全パトロールなどを情報源に、**労働者が接触する危険性・有害性**を見つけて、「**安全衛生対策の不備（不安全状態や不安全行動）**」から発生する「**災害**」を検討しましょう。

### 表現方法

「**〇〇が△△である（不安全状態や不安全行動）**」ため、「**××（災害）**」する。

#### ○不安全状態の例

物自体の欠陥 安全装置の欠陥 作業場所の欠陥 保護具の欠陥 作業環境の欠陥 自然による不安全な状態 作業方法の欠陥 等

#### ○不安全行動の例

安全装置を無効にする 安全対策をしない 危険な状態を作る 不安全な状態を放置 指定外の操作 保護具の誤使用 運転の失敗 誤った動作 等

#### ○災害の例

墜落・転落 はさまれ・巻き込まれ 転倒 飛来・落下 崩壊 激突 切れ・こすれ 交通事故 感電 中毒 等



## 2 リスクの見積もり・評価

例として、

①危険性・有害性に接触・近接する  
**作業の頻度**、

②災害が発生する**可能性**、

③被災したときの**怪我の重さ**

を見積り、

①②③の**合計点 = リスク**を計算して、  
対応の**優先度を確認**しましょう。

<b>作業 の頻度</b>	週に複数回	4点
	週1回～月1回程度	2点
	月1回未満	1点



<b>災害 発生 可能性</b>	かなり注意して発生	6点
	通常の注意力で発生	4点
	うっかりして発生	2点
	通常発生しない	1点



<b>怪我の 重さ</b>	死亡・手足切断	10点
	休業1月以上	6点
	休業1月未満	3点
	不休災害	1点



<b>リスク</b>	計12点以上	IV	直ちに改善必要
	計9～11点	III	早急な改善必要
	計6～8点	II	改善必要
	計5点以下	I	状況に応じ対応

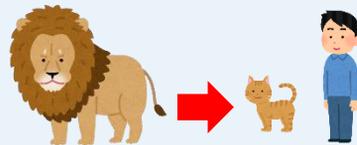
## 3 対策の検討

法令で定められた事項について必ず対策を講じたうえで、下記の優先順位で対策を検討しましょう。



### 危険な作業の廃止・変更

設備の更新による作業変更



### 工学的対策

カバー、囲いの設置



### 管理的対策

マニュアルの整備、  
立入禁止措置、教育訓練等



### 個人用保護具の使用

防護手袋、防護眼鏡等



## 4 対策実施後

対策実施後のリスクを再度計算し、引き続きより一層の対策について検討を行いましょう。